

ネイチャーセンターだより

8月のみどころ



【8月上旬】



アジサシ

秋の渡りの時期が訪れ、渡りの中継地として春国岱にシギなど多くの鳥が羽を休めにやってきます。春国岱を訪れるシギ類は主に、キアシシギ、ハマシギ、トウネンなど。また、アジサシなども渡来し、干潟は鳥たちでとても賑わいます。草原にはハマエンドウやウンランなどが咲いています。

【8月中旬】

エゾオグルマ、ハンゴンソウ、ホザキシモツケ、オオウバユリなどの秋の花が姿をみせます。干潟の鳥の種数はさらに増えます。

【8月下旬】

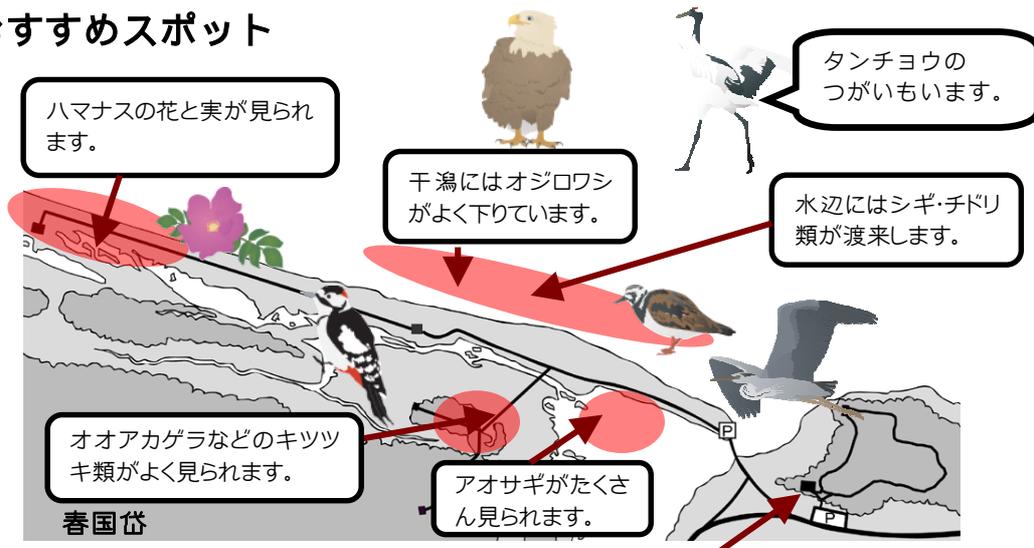
エゾトリカブト、エゾリンドウが開花します。ネイチャーセンター横の自然学習林でもキレイな花を咲かせます。また、キリギリスなどの秋の虫が鳴き始め、次第に秋が深まります。



エゾトリカブト

※山菜や野の花は自然のままお楽しみください。多くの方が観察できるよう採集など持ち帰りはご遠慮ください。

おすすめスポット



春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。お気軽にお声かけください。

トピックス

渡り鳥の苦労

秋になると春国岱にたくさんの渡り鳥が羽を休めにやってきます。20種類を超えるシギやチドリの間が羽を休める姿はこの時期ならではのものです。

さて、皆さんはどうして春国岱にシギやチドリがたくさん渡ってくるのか知っていますか？シギ・チドリの間は、季節によって住む場所を移動する渡り鳥です。種類によっては北極圏からオーストラリアまで1万km以上もの旅をします。春国岱では、春と秋の渡りの途中に訪れる旅鳥です。旅鳥にとって中継地となる日本は、栄養補給や休息をとるためにとても重要な場所です。

春国岱にシギやチドリがたくさん訪れるのは、彼らが食料としているものに関係しています。春国岱を利用するシギ・チドリの多くは貝やゴカイなどの干潟の生き物を食べます。春国岱周辺には、彼らの餌場となる広大な干潟が残っており、餌となる生物も豊富です。春国岱のような豊かな干潟の多くは、埋め立てなどにより減少しています。長距離を移動する彼らが生き残る為に、渡りのルートに残された生息地を、これからも大切にしていける必要があります。



春国岱クイズ

夏、春国岱で多く見られるアオサギ。このアオサギは風連湖で何を食べているでしょうか？A・Bの内から選んでください。

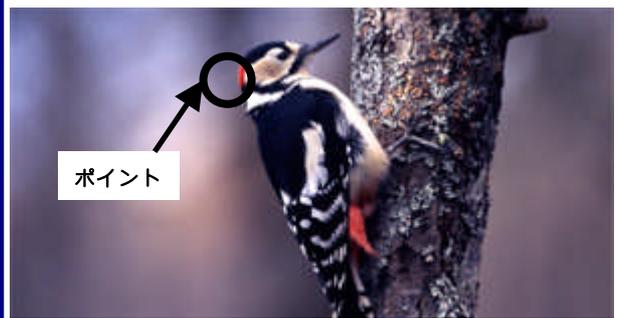
ヒント：春国岱にたくさんいるから観察してみよう！



- A 水草 B 魚

答えは次号に掲載します。
(先月号の答え…B)

いきもの図鑑



英名 Great Spotted Woodpecker 学名 *Dendrocopos major*

アカゲラ

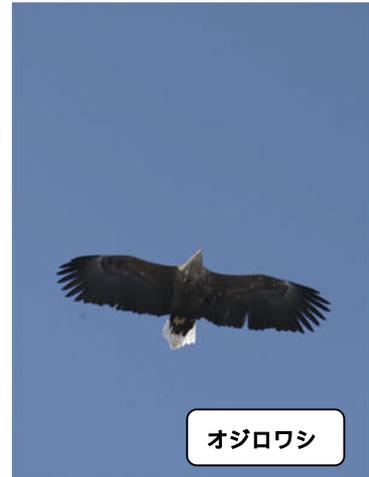
(キツツキ科)

留鳥で一年中観察することができ、キツツキの仲間です。主に枯れ木がある森林で見られます。枯れ木の中には虫がたくさん入り、その虫を食べるために枯れ木を頻りに訪れるのです。アカゲラの特徴は、翼の白と黒のシクシク模様と赤いおなかです。オスは後頭部にベレー帽のような赤い色が見えるのが特徴です。

レポート

「初夏の春国岱で野鳥をみよう」

7月3日に春国岱で野鳥観察会を行いました。この日は天候にも恵まれて、たくさんの野鳥を観察することができました。ミソサザイが枝先で声高らかにさえずったり、オジロワシが上空を飛んだり、タンチョウが湿原をゆっくりと歩いていたり、子ギツネがのんびりと頭をかいたり…、鳥や動物たちの自然な姿に触れることができました。初夏の朝のさわやかな空気の中、春国岱で子育てに取り組むさまざまな生き物たちに出会い、春国岱や生き物の特徴を紹介しながら散歩することができ、参加された皆さんからは楽しかったという感想をいただきました。



オジロワシ

NEWS

外来生物ゼミナール～本当の自然ってなんだろう？を考える～参加者募集中

8月20日（土）にネイチャーセンターと協力してウチダザリガニの防除活動を行っている「NEMURO ざりがに探偵団」が、根室市総合文化会館で講演会を行います。生物多様性の大切さが注目される中、本当の自然とは何か？人と野生生物はどのような関係を築いていけばよいのか？といった疑問を考えていくため、旭山動物園の獣医である福井大祐さんや美幌博物館学芸員の町田善康さん、NEMURO ざりがに探偵団の代表高橋克巳さんから人と野生生物の関わりや外来生物の問題などのお話を伺います。講演が終わったあと、明治公園に移動し、ウチダザリガニの防除活動の様子を見学します。



ザリガニ探偵団の活動の様子

東梅野鳥観察舎 オープン！

6月26日に、東梅野鳥観察舎（東梅ハイド）がオープンしました。この施設は、根室ワイズユースの会が野鳥を驚かさずに観察するために建てた小屋で、いつでも自由に利用することができます。場所は国道44号線沿い、根室市東梅にあるレストラン「レイクサンセット」の2軒となります。春国岱ネイチャーセンターに地図をご用意しています。気軽にスタッフにお尋ねください。

ハイドからは、ノビタキやタンチョウ、オオハクチョウ、オオワシなど季節ごとに違う、さまざまな野鳥や春国岱・風連湖の自然を観察することができます。



オープニングセレモニー

行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
8 / 14 (日) 9:00~12:00	海辺の生き物観察会 春国岱周辺の海で生き物を観察してみませんか？たくさんの魚やヒトデに会えるかもしれませよ♪	100円	8/9(火)までに春国岱ネイチャーセンターまでご連絡ください。 (先着 20名) ※集合：春国岱ネイチャーセンター
7/23~ 8 / 30 (火)	クラフトコーナー 自然の素材を使って、工作ができます。 見本や自由な発想で作ってみましょう。	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご利用いただけます。
8 / 20 (土) 13:00~16:00	外来生物ゼミナール（ザリガニ探偵団） 第1部 講演会 13:00~15:00 第2部 実地見学 15:15~16:00 講演会では旭山動物園の獣医 福井大祐さん、美幌博物館の学芸員 町田善康さんからお話を伺います。	無料	8/18(木)までに春国岱ネイチャーセンターまでご連絡ください。 (先着 70名) ※会場 根室市総合文化会館 視聴覚室
いつでも	ほんもの探しゲーム ネイチャーセンターの展示コーナーで かくされた本物を探すゲームに挑戦。	無料	申込み不要

ボランティア

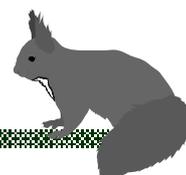
春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループ・スルクと個人参加のフィールド・ボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然の調査や観察会の開催したり、自主イベントの企画・実施をしたりなどの活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。お気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：
フィールド・ボランティア 300円
ボランティアグループ・スルク 1500円
- ◆お問合せ：電話 0153-25-3047

マナーを守って…

美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 野外での禁煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から先は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570
Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp
URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

- ◆8月の休館日：3、10、17、24、31日
- ◆8月の開館時間：9:00~17:00
- ◆団体でご利用の方へ
自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます
(要 事前申込)